

(9) 野幌土地区画整理事業

本地区は、野幌駅から南西約0.8kmに位置し、概ね農地であったが、古くから本市を代表する窯業の煉瓦・陶管等に適する土取場であったため、荒廃している土地も多く、周辺部と比較して市街地開発が抑制されていた。

このような状況のなか、本地区周辺には札幌市や産炭地からの流出口が定着し、活発な宅地需要の動向が見られた。しかし、本地区においては、計画的な開発は行なわれず僅かな現道に依存する宅地化が進みつつあり、無計画なスプロール現象を招くことが明らかであったことから、都市施設を計画的に整備改善し、健全な住宅市街地の造成を行なった。

《 事業概要 》

施 行 者	組 合	公 共 減 歩 率	23.6%
施 行 面 積	39.3ha	保 留 地 減 歩 率	10.4%
施 行 期 間	昭和46～54年度	合 算 減 歩 率	34.0%
総 事 業 費	530,084千円	公 共 用 地 率	25.6%
設 立 認 可	昭和46年12月2日	都 市 計 画 道 路	0.7ha(0.3km)
認 可 公 告	昭和46年12月8日	区 画 道 路	8.1ha(9.4km)
仮 換 地 指 定	昭和48年12月13日	公 園 ・ 緑 地	1.2ha
換 地 処 分 の 公 告	昭和50年7月14日	そ の 他 公 共 用 地	
解 散 認 可 公 告	昭和54年12月27日	保 留 地 面 積	4.0ha

《 区域図 》

